

# 4.生物多様性保全ゾーンの創出（ウラシマソウの保全を含む）

## 【第4回までの説明内容】

アカガシを中心とした常緑広葉樹林の保全ゾーン

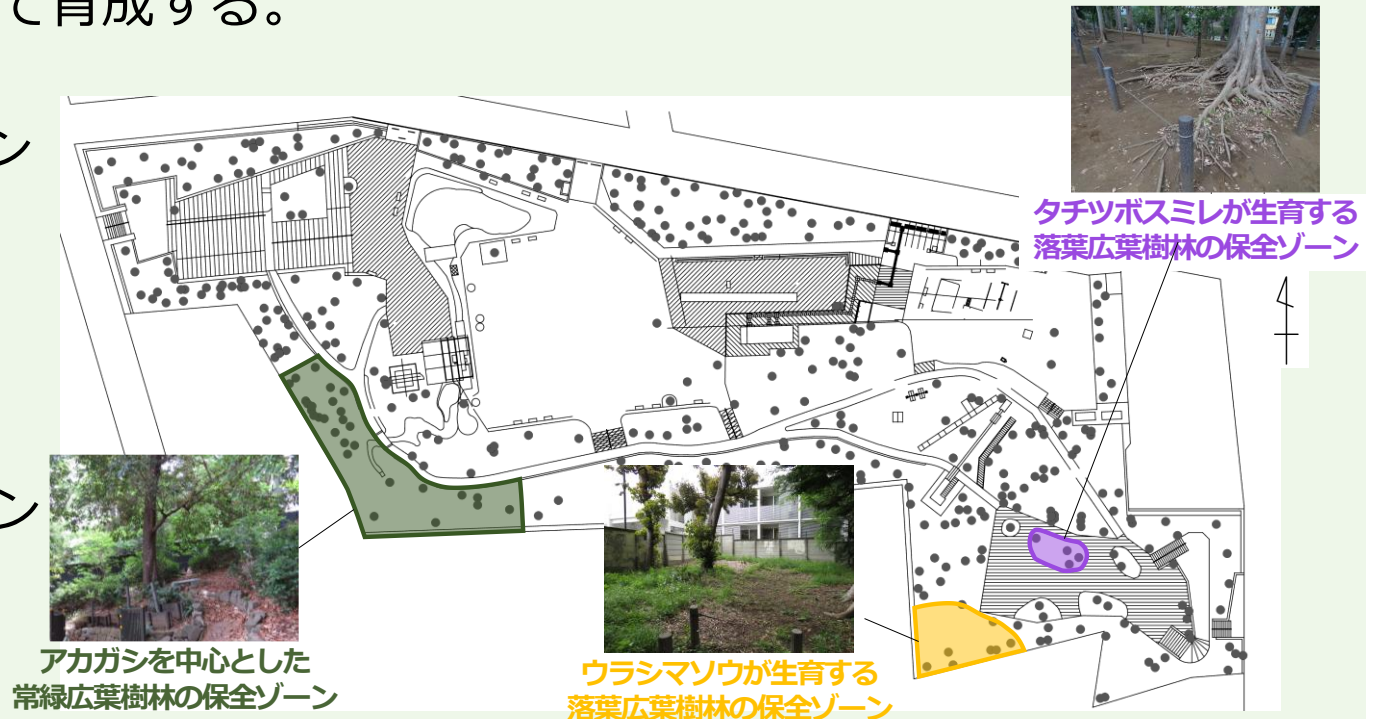
- ・ 将来を見据えてアカガシの実生木を残して育成する。

ウラシマソウが生育する落葉広葉樹林の保全ゾーン

- ・ 隣地等周囲に影響がない方法で遮光し、ウラシマソウの好む環境へ戻す取り組みを進めている。

タチツボスミレが生育する落葉広葉樹林の保全ゾーン

- ・ 看板を設置して立ち入りを抑制するとともに、表土を2～3cmほぐして植物の育成を図っている。



## 【その後の対応】

- ・ 上記の保全ゾーン内で、取り組みの経過を見守っています。